



平成25年10月31日

各 位

上場会社名 日本通運株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡邊 健二
 (コード番号 9062 東証第一部)
 問合せ先責任者 財務部長 増田 貴
 (TEL 03-6251-1111)

第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年9月11日に公表しました平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と比較して、本日公表の決算において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、第2四半期累計業績および直近の業績動向を踏まえ、平成25年5月8日に公表した通期業績予想につきましても、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1.平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異

(百万円未満切捨て)

(1)平成26年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値との差異(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成25年9月11日公表)	百万円 835,000	百万円 16,000	百万円 21,000	百万円 6,500	円 銭 6.31
実績値(B)	835,758	17,456	22,387	7,443	7.22
増減額(B-A)	758	1,456	1,387	943	
増減率(%)	0.1	9.1	6.6	14.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期第2四半期)	798,742	15,743	20,616	11,315	10.85

(2)平成26年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値との差異(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成25年9月11日公表)	百万円 516,000	百万円 7,500	百万円 11,000	百万円 500	円 銭 0.49
実績値(B)	513,792	10,219	13,561	2,046	1.99
増減額(B-A)	△ 2,207	2,719	2,561	1,546	
増減率(%)	△ 0.4	36.3	23.3	309.3	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期第2四半期)	514,551	7,323	10,809	5,100	4.89

(3)第2四半期業績予想数値との差異が生じた理由

(連結)

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、不安定な欧州経済や中国の経済成長の鈍化等により海外セグメントについては当初見込んでいたよりも低調に推移いたしました。国内複合事業の収支改善により売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益については前回発表予想を上回る結果となりました。

(個別)

当第2四半期累計期間の個別業績につきましては、航空事業の取扱いが当初見込んでいたよりも大幅に減少したことから、売上高については減少しましたが、複合事業の収支改善により営業利益、経常利益、四半期純利益については前回発表予想を上回る結果となりました。

2.平成26年3月期通期業績予想の修正

(百万円未満切捨て)

(1)平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月8日公表)	百万円 1,690,000	百万円 37,000	百万円 45,000	百万円 25,000	円 銭 24.37
今回発表予想(B)	1,690,000	40,000	48,000	25,000	24.37
増減額(B-A)	0	3,000	3,000	0	
増減率(%)	0.0	8.1	6.7	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,613,327	33,206	41,500	23,831	22.89

(2)平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年5月8日公表)	百万円 1,035,000	百万円 18,000	百万円 24,000	百万円 13,000	円 銭 12.67
今回発表予想(B)	1,030,000	23,000	29,000	15,000	14.62
増減額(B-A)	△ 5,000	5,000	5,000	2,000	
増減率(%)	△ 0.5	27.8	20.8	15.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,025,145	16,247	22,350	12,590	12.10

(3)通期業績予想修正の理由

(連結)

海外においては、欧州経済は景気回復の兆しはあるものの、まだ当面の間は低迷が続くとみられます。一方で、国内複合事業の収支改善に加え、転進支援措置等の効果も見込まれることから営業利益並びに経常利益については前回発表予想を上回る見込みであります。

(個別)

航空事業の取扱いが当初見込んでいたよりも大幅に減少したことから、売上高につきましては下方修正いたしました。これに対して、複合事業の収支改善に加え、転進支援措置等の効果も見込まれることから営業利益並びに経常利益は、前回発表予想を上回る見込みであります。当期純利益については、転進支援措置等による特別損失の計上はありますが、投資有価証券の売却益等により前回発表予想を上回る見込みであります。

3.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断し作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上